

自他を大切にし、よりよい学級・学校生活を築こうとする児童の育成  
～自主的・実践的な集団活動を通して～

## 第2学年 学級活動（2）指導案

令和3年6月25日（金）第5校時  
第2学年3組 35名  
授業者氏名

### 1 題材名 「ふやそう！あったかことば」 イ よりよい人間関係の形成

### 2 児童の実態と題材設定の理由

本学級は、男子17名・女子18名、計35名のクラスである。今年度、担任は変わったが、児童は昨年度から変わらず持ち上がりの学級である。明るく元気な児童が多く、すすんで友達に声を掛けたり、友達の頑張りやよさを素直に褒めたりする姿が見られる。その一方で、友達に対して悪口を言ったり、相手を責めたりするなど、相手の気持ちを考えない言動も多く見られる。

そこで、友達との関わり方について以下のアンケートを実施した。

しつもん		はい	いいえ
①	ともだちに、うれしい気持ちになることば（あったかことば）を、言ったことはありますか。	29	6
②	ともだちに言われて、うれしい気持ちになったことばはありますか。	29	6
③	ともだちに言われて、いやな気持ちになったことばはありますか。	20	15
④	ともだちに、いやな気持ちになることばを言ったことはありますか。	1	34

また、具体的な言葉を記入させると、以下の言葉が出てきた。

児童から出てきた「あったか言葉」
・ありがとう・おはよう・ばいばい・大丈夫・落ちてたよ・一緒に遊ぼう・一緒に帰ろう ・カードゲームやろう・頑張ってるね・絵、上手だね・字、上手だね・すごいね・うれしいよ ・シュート強いね・きれいだね・走るの速いね

児童から出てきた「いやな気持ちになる言葉」
・ばかだな・ばーか・あっち行って・その服、〇〇っぽくない・だまってろ・おんち ・字下手・うるさいな・ねこちゃん・うるせえ・こま、へただね・したく遅いね・よわいな ・へんなやつ

アンケート結果から、「あったか言葉」について日常意識している児童が多くいる一方で、あったか言葉を言ったり言われたりした経験が乏しい児童もいることがわかった。また、③「ともだちに言われて、いやな気持ちになったことばはありますか。」という質問に対し、「はい」と回答した児童が半数以上いるにも関わらず、④「ともだちに、いやな気持ちになることばを言ったことはありますか。」という質問に大多数の児童が「いいえ」と答えていて、大きな矛盾が生まれた。日常的に相手を嫌な気持ちにさせる言葉を無自覚に発していることがわかる。

このことを踏まえ、「あったか言葉」だけでなく、「いやな気持ちになる言葉」を発してしまっているという学級の現状を把握し、「いやな気持ちになる言葉」を減らし、「あったか言葉」を増やすためにはどうすればよいか考える。さらに、実際に起こりうる場面を想定し、「あったか言葉」を伝えるロールプレイをすることで、自分に合った具体的な目標を決めることができる。そして、日々実践を積み重ねることで相手意識が高まり、よりよい人間関係を形成することにつながると考え、本題材を設定した。

### 3 目指す児童像に向けて

#### ① 自分の思いや願いをもって、意欲的に取り組むための手立て

友達や班、学級をよりよくするためのアイデアをもち伝える。  
学年の終わりには、「友達・学級のために〇〇ができた」と言える。

##### ・アンケートの活用

→友達との関わりの中で、「あったか言葉」や「いやな気持ちになる言葉」を言ったり言われたりしているか、事前にアンケートを取ることで、学級や自己の実態を把握することができる。また、その結果をグラフなどにまとめ提示することで、学級の課題をつかむことができる。

##### ・実践カードの活用

→本時では、相手をどのような気持ちにさせたいかを考え、意識していきたい個人の目標を書く。その後の活動では、「あったか言葉」を使ったときに、実践カードの吹き出しに「あったか言葉」を書きこんでいく。吹き出しが埋まってしまった場合は、空いているところに自分で吹き出しを足していく。1週間後、振り返りを行い、自己の努力の成果を認識したり、課題への意識を高めたりできるようにする。

#### ② 自他のよさや差異を認め合い、大切にするための手立て

相手を見て、人は話を最後まで聞く。  
自信をもって発言・行動する。

##### ・「あったか言葉」のロールプレイ

→設定した場面で「あったか言葉」を伝え合う活動を通して、友達のよかったところを見つけたり多様な考え方に触れたりして、自他のよさに気付くことができるようにする。また、ロールプレイを通して「あったか言葉」を伝える体験をすることで、相手の気持ちを確認し、実践していこうとする気持ちをもてるようになると思う。

### 4 事前の指導

日時・担当	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点） 【評価方法】
6/7(月)	・アンケートに記入する。	・「あったか言葉」や「いやな気持ちになる言葉」を言ったり言われたりしているかについて書かせる。	◎友達との関わり方について振り返って考えることができている。（主体的に取り組む態度）【アンケート】

### 5 評価規準（第1学年及び第2学年）

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。	学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

相手がうれしくなる言葉を考えて、すすんで伝えることができるようにする。

### (2) 展開

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
<p>〈つかむ〉</p> <p>1 アンケート結果を提示し、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あったか言葉」を言ったり言われたりしている人が多い。</li> <li>・クラスの全員が「あったか言葉」を意識して使っているわけではない。</li> <li>・「いやな気持ちになる言葉」を言われた人が多いが、言っている人がほとんどいない。</li> </ul> <p>〈さぐる〉</p> <p>2 「いやな気持ちになる言葉」を言ってしまう原因を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けんかをしたとき。</li> <li>・いらいらしているとき。</li> <li>・じゃまされたとき。など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果からクラスの実態と課題に気付けるようにする。</li> <li>・「いやな気持ちになる言葉」を言われている人が多いが、言っていないという人がほとんどであるという矛盾について、考えられるようにする。</li> <li>・「いやな気持ちになる言葉」を言ってしまう事実を確認した上で、「あったか言葉」を使っていきたいという思いがもてるようにする。</li> </ul>	
<h2 style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ふやそう！あったか言葉</h2>		
<p>3 「あったか言葉」を増やすためには、どうすればよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよいところを見つける。</li> <li>・優しく言う。</li> <li>・相手の気持ちを考える。など</li> </ul> <p>〈見つける〉</p> <p>4 具体的な場面を設定し、「あったか言葉」を使ったロールプレイをする。ペアで取り組み、その後、代表児童が発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友達とぶつかったとき」</li> <li>・「勝ち負け決まったとき」</li> </ul> <p>〈決める〉</p> <p>5 相手に対して、自分はどうしていきたいかを考え、個人のめあてを決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートのあったか言葉に注目させ、考えられるようにする。</li> <li>・どのような場面かイメージしやすいように、1回目は教師と児童で行う。また、教師が悪い例を見せ、児童の意欲を掻き立てる。</li> <li>・「あったか言葉」を言ってもらった児童に気持ちを聞く。また、ロールプレイを見ていた児童からも感想を聞く。</li> <li>・ロールプレイで出てきた気持ちから考えられるようにする。</li> </ul>	<p>◎自分の考えをすすんで伝え、多様な考えを受け止めながら話し合っている。(主体的) 【観察・ロールプレイ】</p> <p>◎相手意識をもった目標を立てている。(知識・技能) 【観察・実践カード】</p>

## 7 事後の指導

日時・担当	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点） 【評価方法】
6/28（月） ～ 7/ 2（金）	実践カードを1週間実施し、自己の言動を振り返る。	帰りの会で児童の頑張りや変容を称え、みんなで励まし合う。	◎自分の決めた目標に向かって、様々な場面に合った「あったか言葉」を自分なりに考え、実践している。（思考・判断・表現）【観察・実践カード】

## 8 板書計画

